



日本共産党

山本りか県議会通信



2017・3・31 第20号
発行：三重県議会議員
山本りか事務所



- ・霞四号幹線（四日市第3コンビナート⇄川越インター）は伸び悩むコンテナ量・国交省交通アクセスから見て経済効果が薄い。4車線計画を縮小し2車線でとどめるべきかどうか。
- ・リニア計画に熱心だが、本当に県民のためになるのか。

予算決算委員会・総括質疑 3/8

- ・霞4号幹線は、港管理組合のことなので答えるべきことでない。まずは2車線の完成・使用を開始して経済効果を発現させていく。
- ・リニアは10年後名古屋まで、20年後大阪までを見越し、経済効果を十分に考え、一日も早い開業にむけ近県と連携し準備したい。



【一般会計】反対の主な内容

- ・ポストサミット予算114億円。実感できていない経済効果を引き寄せようとするも、ほとんどが大型道路建設で意味が感じられない。
- ・企業立地や促進の補助金14億6000万円。うち、シャープへの2億円、粉飾決算の東芝への8,261万円の補助金が計上されていることは問題です。
- ・子どもと教育現場に負担を押し付ける全国学力学習調査に追随し点数主義を煽る学力向上県民運動（スタディチェック含む）など5,000万円。教員の多忙化を解消できず、教育者として願っている「一人一人の生徒のその能力に応じた向き合い方ができる教育現場」にすることはできない。「人材ではなく人を育てる教育を応援すること」こそ必要です。
- ・四日市港管理組合負担金16億1252万円。うち、約9億円が霞4号幹線工事費用。2車線完成となるが、生活道路でない産業道路にこれ以上税金をつぎ込むべきでない。
- ・リニア中央新幹線推進関係機関との連携強化のための700万円。真に県民の望むことなのか？誰のためのリニア新幹線？超巨額投資で国民・県民負担が大きく膨らむ。今必要なのは「県民の日常生活の足」としての公共交通。
- ・「県政だより」1億1600万円。住民サービスの出発点であるはずが、新聞折り込みとなり、特定商業新聞を購読しなければ届かないのは問題あり。全戸にいきわたることを追及すべきです。
- ・消費税8%引き上げにより増収となった地方消費税増収分121億円は「社会保障施策に関する経費」に充てるはずが、従来一般財源で賄ってきた部分を付け替えたにすぎない。
- ・子どもの貧困対策と言いながら、子ども医療費など福祉3公費窓口無料について、県民からの要望や議会意見書があっても実施がなされていない。

反対討論 3・21

2017年度一般会計予算
2017年度水道・工業水道・電気事業会計予算



財政難は
破たんしている巨大事業のツケ
反省なくして回復なし…繰り返すことならじ!

県民の貴重な税金を使って失敗した2事例 ガス化溶融炉も含めると3事例

【水道用水事業・工業用水事業】反対の内容
利用は低迷し十分に活用されているとはいいがたい長良川河口堰からの取水。建設から維持のための費用が大きく影響している中、内部留保金があるため一般会計に貸し付けを行うが、利用料を下げるべきという利用自治体からの意見がある。1500億円という莫大な費用をかけて建設され、利用が少なくても出資金や補助金を三重県が支出し維持しなければならない。

【電気事業】反対の内容
83億円をかけて建設されたRDF発電施設は、人身事故が発生。また、採算が合わないために処理料はうなぎのぼり。操業当初3,790円/tだったものが1万6,874円/tへ。事業継続できなくなり平成32年終了へと利用市町を翻弄。

日本共産党県議団は、21日に議了日を迎えた2月定例会月会議で議案107件・議定議案1件・請願3件のうち、16議案に反対。山本県議は4件に反対討論。反対したうち15件については共産党県議団2議員のみが反対、電気事業会計予算1件は、草の根運動「いが」の稲森議員も一緒に反対しました。

要望実る!!

老朽化信号の更新
摩耗した横断歩道表示
塗り替え
予算化!!

りかサポルーム 山本りか事務所
沖の島町郵便局西隣り
☎・fax 059-350-8010
HP <http://rika.jcpweb.net/> FB も見てね
*4月は定期的な開所ができません。
お問い合わせは 059-351-8184
日本共産党北勢地区委員会事務所まで

困ったとき



りか・サポ 生活相談 DAY

4月8日(土) 11時~13時
4月9日(日) 14時~17時
4月18日(火) 13時~16時

前回のお知らせと内容が変わっております。

